

編集部に寄贈していただいた書籍

(2016年1月～12月)

- 朝元照雄著『台湾企業の発展戦略——ケーススタディと勝利の方程式——』勁草書房 2016, x+247pp.
- 安達祐子著『現代ロシア経済——資源・国家・企業統治——』名古屋大学出版会 2016, iv+418pp.
- 李昌政著『戦前期東アジアの情報化と経済発展——台湾と朝鮮における歴史的経験——』東京大学出版会 2015, iv+271pp.
- 石川幸一・馬田啓一・渡邊頼純編著『メガFTAと世界経済秩序——ポストTPPの課題——』勁草書房 2016, ix+300pp.
- 馬田啓一・浦田秀次郎・木村福成編著『TPPの期待と課題——アジア太平洋の新通商秩序——』文眞堂 2016, xiii+303pp.
- 遠藤貢著『崩壊国家と国際安全保障——ソマリアにみる新たな国家像の誕生——』有斐閣 2015, x+283pp.
- 王在喆・宮川幸三・山田光男著『日中連関構造の経済分析』勁草書房 2016, vii+166pp.
- 大石高典著『民族境界の歴史生態学——カメルーンに生きる農耕民と狩猟採集民——』京都大学学術出版会 2016, xvi+264pp.
- 小笠原英治・藤沼司編著『原子力発電企業と事業経営——東日本大震災と福島原発事故から学ぶ——』文眞堂 2016, xiii+205pp.
- 押川文子・南出和余編著『「学校化」に向かう南アジア——教育と社会変容——』昭和堂 2016, xviii+399pp.
- 加々美光行著『未完の中国——課題としての民主化——』岩波書店 2016, viii+276pp.
- 加藤弘之著『中国経済学入門——「曖昧な制度」はいかに機能しているか——』名古屋大学出版会 2016, iv+242pp.
- 川野祐司著『ヨーロッパ経済とユーロ』文眞堂 2016, vii+303pp.
- 金成垣著『福祉国家の日韓比較——「後発国」における雇用保障・社会保障——』明石書店 2016, 195pp.
- 金紅実著『中国の環境行財政——社会主義市場経済における環境経済学——』昭和堂 2016, vii+211pp.
- 久保文克著『近代製糖業の経営史的研究』文眞堂 2016, vii+272pp.
- 巖善平・湯浅健司・日本経済研究センター編『2020年に挑む中国——超大国のゆくえ——』文眞堂 2016, vi+263pp.
- 佐藤仁著『野蛮から生存の開発論——越境する援助のデザイン——』ミネルヴァ書房 2016, xxii+310+8pp.
- 佐橋亮著『共存の模索——アメリカと「二つの中国」の冷戦史——』勁草書房 2015, xii+223+100pp.
- 篠田隆著『インド農村の家畜経済長期変動分析——グジャラート州調査村の家畜飼養と農業経営——』日本評論社 2015, xvi+392pp.
- 丁圀鎮著『組織設計と個人行動——「H. ミンツバーク組織設計論」と「組織行動論」——』文眞堂 2016, vi+215pp.
- 白石麻保著『計画経済の実証分析——中国の経済開発——』京都大学学術出版会 2016, vi+181pp.
- 白木沢旭児著『日中戦争と大陸経済建設』吉川弘文館 2016, 6+290+5pp.
- 薛軼群著『近代中国の電信建設と対外交渉——国際通信をめぐる多国間協調・対立関係の変容——』勁草書房 2016, ix+249pp.
- 田島俊雄・張馨元・李海訓編著『アズキと東アジア——日中韓台の域内市場と通商問題——』御茶の水書房 2016, vi+342pp.
- 陳來幸著『近代中国の総商会制度——繋がる華人の世界——』京都大学学術出版会 2016, vii+371pp.
- 戸堂康之著『開発経済学入門』新世社 2015, viii+297pp.
- 永野善子著『日本／フィリピン歴史対話の試み——グローバル化時代のなかで——』御茶の水書房 2016, iv+195+xpp.
- 中村正志著『パワーシェアリング——多民族国家マレーシアの経験——』東京大学出版会 2015, vii+298pp.
- 倪卉著『蚕糸と現代中国』京都大学学術出版会 2016, viii+320pp.
- 西村英俊・小林英夫編著『ASEANの自動車産業』勁草書房 2016, x+303pp.
- 林倬史著『新興国市場の特質と新たなBOP戦略——開発経営学を目指して——』文眞堂 2016, xiv+207pp.
- 原田敏治著『先住民族社会の形成と存続——ニュージー

- ランド南島ナイ・タフ族の伝統と社会——』日本経済評論社 2016, xii+250pp.
- 深町英夫編『中国議会 100 年史——誰が誰を代表してきたのか——』東京大学出版会 2015, v+291pp.
- 藤田和子・文京洙編著『新自由主義下のアジア』ミネルヴァ書房 2016, xii+326pp.
- 堀和生編『東アジア高度成長の歴史的起源』京都大学学術出版会 2016, xiii+371pp.
- 前田昌弘著『津波被災と再定住——コミュニティのレジリエンスを支える——』京都大学学術出版会 2016, xviii+444pp.
- 松下洙・藤田憲編著『グローバル・サウスとは何か』ミネルヴァ書房 2016, xi+333pp.
- 松本和幸著『国際競争力』文眞堂 2016, v+136pp.
- 三尾裕子・遠藤央・植野弘子編『帝国日本の記憶——台湾・旧南洋群島における外来政権の重層化と脱植民地化——』慶應義塾大学出版会 2016, vii+291+8pp.
- 毛里和子著『中国政治——習近平時代を読み解く——』山川出版社 2016, 119pp.
- 安田淳・門間理良編著『台湾をめぐる安全保障』慶應義塾大学出版会 2016, iv+244pp.
- 安田慎著『イスラミック・ツーリズムの勃興——宗教の観光資源化——』ナカニシヤ出版 2016, iv+244pp.
- 李彦銘著『日中関係と日本経済界——国交正常化から「政冷経熱」まで——』勁草書房 2016, viii+322pp.
- 廉舒著『中国外交とプラグマティズム——一九五〇年代における中国の対英政策——』慶應義塾大学出版会 2016, ii+282pp.
- Dean Karlan and Jacob Appel, *Failing in the Field: What We Can Learn When Field Research Goes Wrong*, Princeton University Press, 2016, viii+164pp.
- Fujio Hara, *The Malayan Communist Party as Recorded in the Comintern Files*, Strategic Information and Research Development Centre, 2016, xii+162pp.
- Johan Engvall, *The State As Investment Market: Kyrgyzstan in Comparative Perspective*, University of Pittsburgh Press, 2016, x+230pp.
- Pasuk Phongpaichit and Chris Baker, *Unequal Thailand: Aspects of Income, Wealth and Power*, National University of Singapore Press, 2016, xv+186pp.
- Steven I. Wilkinson, *Army and Nation: The Military and Indian Democracy since Independence*, Harvard University Press, 2015, 295pp.
- Trần Ngọc Angie, *Ties that Bind: Cultural Identity, Class, and Law in Vietnam's Labor Resistance*, Cornell Southeast Asia Program Publications, Cornell University, 2013, xi+340pp.
- Yusuke Takagi, *Central Banking as State Building: Policymakers and Their Nationalism in the Philippines, 1933-1964*, Kyoto University Press, 2016, xii+214pp.